

環境方針

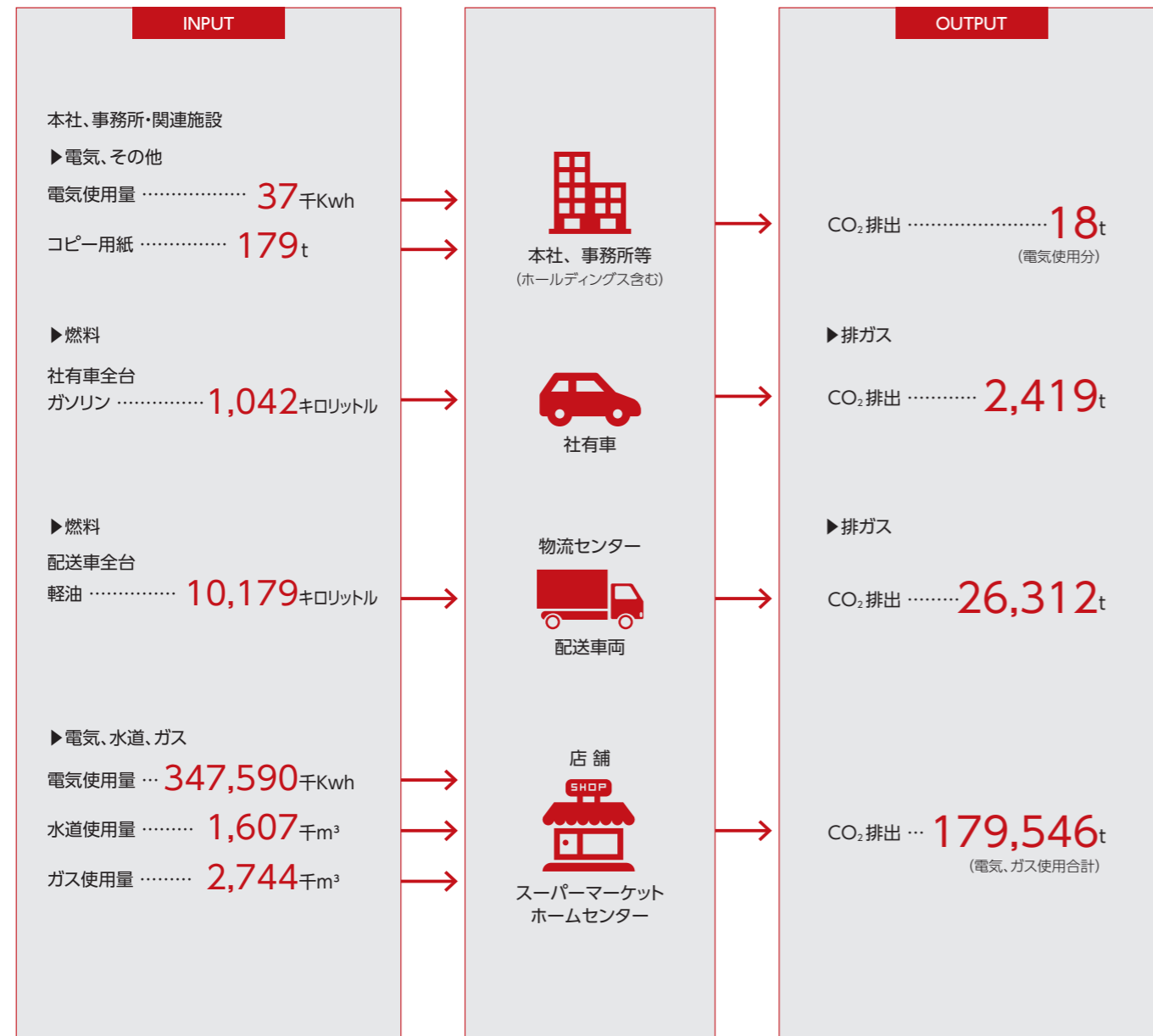
当社は事業活動による環境負荷の削減を重要な課題であると認識し、その達成のために取り組み課題を掲げ、地域社会と共に、これに挑戦します。



取り組み課題

- 1.省エネルギー・省資源を中心とするCO₂排出削減
- 2.食品廃棄物、その他の廃棄物の削減
- 3.エコ商品の販売拡大
- 4.グリーン購入の推進

マテリアルフロー



注：(株)パロー、(株)ホームセンターパローを対象に算出。燃料については中部興産(株)の保有並びに備車による配送車全台を対象に算出。

活動ハイライト

当年度の主な管理項目の実績値を、次年度以降のパフォーマンス指標の基準値とします。今後も更なる取り組みを推進し、環境に、社会に、そしてお客様の生活により貢献できるよう努めてまいります。

環境パフォーマンス

管理項目	具体的な取り組み	2015年度目標	2015年度実績	評価	結果	2016年度目標
二酸化炭素の抑制	電力消費量の削減	原単位 525 (DC使用を除く) (原単位で 前年度比 1% 削減)	原単位 508 (DC使用を除く) (原単位で 前年度比 3.2% 削減)	◎	スーパーマーケット店舗の照明をLED照明に変更して、電気使用効率をあげました。これからも電気の使い方をさらに工夫してまいります。	原単位 503 (DC使用を除く) (原単位で 前年度比 1% 削減)
	省エネルギー運転	燃費で 1% 削減	前年度比 ・走行距離… 107% ・燃料使用量… 110% ・燃費… 103%	×	遠隔地の出店が増えたため、走行距離・燃料使用量も増え、燃費も悪化しました。	燃費で 1% 削減
廃棄物の削減	レジ袋の辞退率の向上	レジ袋辞退率 87% (株)パロー全店)	レジ袋辞退率 84.7% (株)パロー全店)	×	前年度に比べ 2.3% 悪化しました。レジ袋有料化の店舗は 220 店舗から 224 店舗と増えましたが、まだ 11 店舗は実施できていません。今後もよりいっそうの削減をお客さまと一緒にやってまいります。	レジ袋辞退率 87% (株)パロー全店)
	食品廃棄物の発生抑制	発生源単位 (発生量/売上高)で 前年度比 99% (原単位 0.0484)	発生源単位 (発生量/売上高)で 前年度比 109.7% (原単位 0.0536)	×	引き続き食品廃棄物を減らすよう努めてまいります。	発生源単位 (発生量/売上高)で 前年度比 99% (原単位 0.0530)
リサイクルの推進	食品残渣のリサイクルの推進	食品残渣リサイクル 店舗… 192 店 (前年度比 110%)	食品残渣リサイクル 店舗… 223 店 (前年度比 127%)	◎	既存店においてもリサイクルできる店舗を増やし、廃棄する商品の量をさらに減らしていくよう努めてまいります。	食品残渣リサイクル 店舗… 230 店 (前年度比 103%)
	古紙のリサイクルの推進	・古紙リサイクル 店舗… 92 店 (前年度比 128%) ・リサイクル量 100,000 Kg (前年度比 210%)	・古紙リサイクル 店舗… 67 店 (前年度比 93%) ・リサイクル量 52,318 Kg (前年度比 110%)	△	リサイクル量としては前年度実績を超えることができました。ごみの減量を図るとともに回収の仕組みを見直してまいります。	・古紙リサイクル 店舗… 80 店 (前年度比 119%) ・リサイクル量 52,500 Kg (前年度比 100%)
	容器・包装リサイクル等の推進	・リサイクルボックスの増設 ・リサイクル可能な対象品の拡大 ・リサイクルステーションの見直し	リサイクル ボックス設置店の 拡大	リサイクルボックス 設置店 ・牛乳… 235 店 ・アルミ缶、 スチール缶… 226 店 ・トレイ… 226 店 ・ペットボトル… 223 店	○	大型のリサイクルボックスのさらなる導入と、よりいっそう回収可能な品目を増やすことが課題となっております。

注：「二酸化炭素の抑制」は、(株)パロー、(株)ホームセンターパローを対象に算出。その他は、(株)パローを対象に算出。

